

事務事業評価シート

(H.30)No.	4026	(H.29)No.	4026
-----------	------	-----------	------

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	維持管理室	伊集院 時仁	

会計区分	事業コード	395201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路舗装費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5	快適な生活環境づくり
	施策	2	道路整備
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。
事業内容
社会資本整備総合交付金事業を活用し、既存道路の安全性向上を図るため、計画的な舗装工事を実施します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	春日丘中央線 (L=190m A=1,200㎡) 11,556千円 すずらん台中央線 (L=175m A=1,660㎡) 15,786千円 青蓮寺名張線 (L=459m A=3,880㎡) 40,044千円	春日丘中央線 (L=190m) 12,010千円 青蓮寺名張線 (L=250m) 24,330千円 すずらん台4号線 (L=250m) 17,010千円	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			青蓮寺名張線 84,110千円 つつじが丘北南線 36,010千円 すずらん台4号線 34,010千円	青蓮寺名張線 24,010千円 つつじが丘北南線 36,010千円 すずらん台4号線 17,010千円	青蓮寺名張線 23,640千円 つつじが丘北南線 36,010千円

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		67,387千円		53,350千円	154,130千円	77,030千円	59,650千円
内訳(千円)							
国・県支出金		37,050		26,656	77,050	38,500	29,815
地方債		30,300		26,600	77,050	38,500	29,815
その他()							
一般財源	0	37	0	94	30	30	20
人工数		0.30人		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	2,220千円	0千円	2,220千円	2,220千円	2,220千円	2,220千円
①+②総事業費	0千円	69,607千円	0千円	55,570千円	156,350千円	79,250千円	61,870千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
・道路ストック総点検による路面性状調査結果を基に、H29年度以降で取り組むべき路線の優先順位を決定しました。 ・既存道路の安全性向上と快適な道路環境の形成を目指す取組を進めることができました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
H30年度は、春日丘中央線と青蓮寺名張線を継続し、新たにすずらん台4号線の舗装補修を実施します。これに加え今後は、つつじが丘の主要幹線を中心に継続的な補修を行っていきます。快適な道路環境の形成に向け引き続き実施していく必要があります。今後は、国等の財政措置にも注視しながら取組を進めます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画